

ニュースリリース

「第55回 社会貢献者表彰」 受賞者発表

公益財団法人 社会貢献支援財団（会長 安倍 昭恵）は11月9日「第55回 社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

本表彰は、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に表彰するもので、1971年の開始以来、これまでの表彰件数は12,538件に上っている。

昨年10月31日までに寄せられた145件の推薦の中から選考された41件を表彰する。受賞者のプロフィールについては当財団ウェブサイト www.fesco.or.jp をご参照。

同財団は、日本財団の助成を受けて活動しており、本表彰の受賞者には「日本財団賞」として、それぞれ副賞50万円が贈られる。

問い合わせ先：

公益財団法人 社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp>
担当：飯田 小林

〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町801
TEL:03-3502-0910 FAX:03-3502-7190
E-mail: fesco@fesco.or.jp

社会貢献者表彰制度について

公益財団法人社会貢献支援財団は、財団設立の 1971 年以来、社会の各分野で顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、その貢献に感謝して労をねぎらうため、表彰を行っています。これまでの 49 年間の表彰件数累計は、12,538 件に上っています。受賞者の詳細につきましては、財団のウェブサイト(<http://www.fesco.or.jp>)をご覧ください。

候補者の推薦は、個人・団体を問わず広く一般からいただき、選考は学識経験者で構成される選考委員会が行います。推薦にあたっては、候補者の年齢・職業・性別・国籍などの制限はありません。

詳細は下段をご覧ください。

この事業は、日本財団の助成金の交付を受けて実施されています。

【功績の内容】

- ・海難、水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助、救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害、事故、犯罪の発生を未然に防いだ功績
- ・精神的、肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧、幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績
- ・海の安全や環境保全、山や川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護に尽くされた功績
- ・その他の功績

【表彰選考委員】

委員長 内館 牧子（脚本家、東北大学相撲部総監督）
大武 健一郎（元国税庁長官）
小川 記代子（産経新聞 大阪本社 編集局 編集長）
久米 信行（久米繊維工業株式会社 取締役相談役）
吉永 みち子（ノンフィクション作家（公財）民間放送教育協会 会長）